

解答

- 問一 ア  
問二 ウ  
問三 イ  
問四 ウ  
問五 ウ  
問六 エ  
問七 ウ  
問八 エ  
問九 イ  
問十 エ  
問十一 自分はよそ者で、被災者にどう接すればよいか分からず怖い、目の前の現実を見て何もしないままではいけない。役に立ちたい気持ちは強いので、迷いと緊張を押し殺し、必死さ真剣さをつったえようとしている。

- 問一 a 必然  
問二 ア d 拡張  
問三 エ e 節約  
問四 イ f 優先  
問五 エ  
問六 ア  
問七 イ  
問八 ウ  
問九 ウ  
問十 効率や管理が優先され、情報が個人の好みに最適化される社会では、他者への想像力や利他的な関わりが失われやすいので、日常に偶然性を組みこむことで、未知の他者や価値に出会い、対話を通じて互いに変容していく回路を保つことが重要だと考えられるから。